

# レストハウスの予算を事実上否決

## 解体して、駐車場に。

### 税金は暮らしの応援に

12月の市議会で、レストハウスの設計委託料1500万円の補正予算案が事実上否決されました。

レストハウス関連の議案は、これまで2件が提出されました。「税金は暮らしの応援につかうべきだ」多くの市民がリフォームに反対している。市民の声を聞く機会もつ

くならないまま進めるのはおかしい」として、山崎市議はどちらにも反対しましたが、2件とも可決されました。12月市議会では、「テレビ放映の可能性が極めて低い」



ひ、実現してほしい」「保育料を下げてほしい」「国保税を下げてほしい」など暮らしの要望が寄せられています。こうした声の「勝利」です。

として、1500万円を0円にする、という修正案が全員一致で可決されました。

市民の声が市政・市議会を動かす。しかし：

今回の事実上の否決は、「レストハウスのリフォームに反対。税金は暮らしの応援に」という市民の声が市政・市議会を動かしたものではありません。

山崎市議には「中学生までの医療費の完全無料化は年間2300万円までできる。ぜ

## 来年度から、市の非常勤職員も育児休業が可能に

【山崎】先の国会で育児・介護休業改正法案が全会一致で可決されました。日本共産党の山下芳生参院議員が地方公務員の非常勤職員にも今回の改正が適用され、育児休業が可能になるのか、という質問を行いました。総務大臣が「適用される。自治体に対して積極的に取り組むよう指導

は、いったん解体した後の新築をめざして「レストハウス活用検討委員会」をつくりました。結論をいそぎ、6月市議会にもリフォームあるいは新築の予算案を提出しようとしています。

市民の声に耳をかたむけずに、新たな公共事業に億の税金をつかうことは許されません。「観光協会には別のところ

に移動していただく。レストハウスは解体して、駐車場につかえば、駐車場不足も緩和される」というのが市民の声です。

現在、レストハウスには観光協会と観光協会が営んでいる売店があります。職員は数人です。レストランは一昨年、閉店しています。

## 子どもの貧困対策… 就学援助制度を改善へ

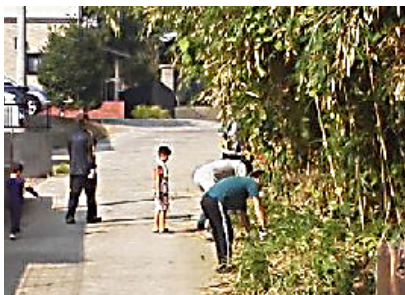
【山崎】日本の子どもは6人にひとり貧困です。ECD経済協力開発機構34カ国の中でも最悪水準です。就学援助は重要な子どもの貧困対策ですが、平戸市の援助率は国・県の半分にすぎません。長崎市や佐世保市などは、申請しやすいように改善しています。平戸市でも各地の自治体が行っているような改善に取り組みすべきでは。

【総務部長】来年度から導入したいと、前向きに考えていきたい。

## 一生懸命に 山崎かずひろ議員



9月 上大垣 敬老会



9月 上大垣 道そうじ



10月 北部健康まつり



11月 コラスまつり



12月 上大垣青年会 粗大ごみの回収



12月 上大垣太陽光発電の説明会



1月 成人式



1月 消防出初式